

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念や経営目標、経営指針を掲示し、会議や社内報、労働安全衛生大会等機会があるごとに説明し、社員に共有している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・経営トップや役員が法令順守(コンプライアンス)の重要性を社員に向けて発信している。 ・プライバシーマーク・ISO14001取得企業であり、個人情報保護等のマネジメントシステムを構築し運用している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・社内研修の際に教育を行い、周知徹底に取り組んでいる。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・ISO14001取得企業であり、本社内にISO推進室を設置しており、各事項に対応している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・インターネットや顧問弁護士から提供いただいた資料を基に、知的財産に関する勉強会を実施している。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護方針を定め、プライバシーマークを取得し適切に管理運用している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・取引先各社とは、共栄会等の定期的な会合や面談を実施している。 ・商工会議所に加入し、経営者が議員となっており、地域の情報収集や意見の交換を行っている。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・協力会社と定期的に会合や研修会を行い情報共有し、積極的な対話に取り組んでいる。 ・ISO14001で取り組む外部コミュニケーションを活用した情報の共有化を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●											9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・次期後継者を育成するため指導・教育に取り組んでいる。									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	・指定管理者施設において、フェアトレードコーヒーを販売し、商品の調達及び知名度UPに取り組んでいる。	1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、労働条件等差別のない体制づくりを行い、高齢者、障がいのある方や外国人技能実習生も積極的に採用している。 ・相談窓口を設置し、女性の担当者があり、相談しやすい状況を作っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・衛生委員会を開催し、労働災害の事例を確認し、安全対策を周知する。 ・年に1回「労働安全衛生大会」を開催し、労災0職場の表彰を行う等安全意識の向上に取り組んでいる。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態にかかわらず、同一労働であれば、賃金、福利厚生等同一とし、平等になるように対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・熊本県の「よかボス」宣言の中でトップ自ら「結婚・子育て・介護等それぞれのライフステージにおける希望や安心が実現出来るよう応援します。」としており、有給休暇の取得、産休育休の取得、子の看護、親の介護のための休暇を取りやすい環境を整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・技術力向上のための研修やISO、プライバシーマーク等の教育を社内外問わず行っている。また、資格取得に伴う費用の負担(宿泊交通費含む)や手当を定め、社員のモチベーションアップにつながっている。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断の受診ストレスチェックはもちろん、結果に応じて医師の診断や特定保健指導を積極的に受けていただくように促している。 ・ヘルススター健康宣言を行い、2023年健康経営優良法人の認定を受けており、これからも取り組みを継続していく。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・高齢者の雇用に取り組み、継続雇用制度で、現在最高齢者85歳である。 ・外国人技能実習生や障がい者の雇用も積極的に行い、アビリンピック全国大会への出場者もあり技術力UPや目標設定に取り組んでいる。 ・全従業員の7割を女性が占め活躍している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・感染拡大時には、公共機関で出社する人に対し時差出勤を推奨している。 ・社内での感染予防対策の基準を設け、消毒液の設置、マスクの配布、換気の徹底を図っている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・清掃ロボット等導入によるDX推進に取り組んでいる。 ・各現場にタブレットを導入し、研修や情報共有のために利用している。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9			12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001取得企業であり、廃棄物の管理や処理について十分に理解し対応している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事業所における電力、燃料の使用量を記録し把握している。 ・ISO14001のマネジメントシステム運用の中で環境パトロールを実施し、省エネルギーに取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出し、社用車のCO2排出量抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・ISO14001マネジメントシステムによる環境影響評価を洗い出し、環境にやさしい資機材を導入している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・裏紙の使用、ペーパーレス化や再生紙を使用したコピー用紙、ペーパー類の活用に取り組んでいる。 ・ごみの分別によるリサイクルの推進に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水のため、注意喚起の掲示物を行い、節水コマを利用している。 ・くまもと「水」検定の受験を推奨し熊本の水資源について理解を深めるよう取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・ISO14001で使用する資材について、年に1度新たな製品を含めて評価し見直しを行っている。 ・グリーン購入法適合品目(ペーパー等)の活用を積極的に行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・アンケートを実施し、残食を減らすための献立構成を行っている。 ・懇親会等の会食時には「3010運動」を実施している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・金峰山の植樹等、地域の緑化活動に参加している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・廃食用油の回収を行い、再生エネルギー生成によるCO2削減に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・感染症対策を徹底し、サービスの安全性をより高くしている。 ・担当者のスキルアップのため研修を行い、品質や安全性を確保している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・ユニバーサルデザインを考慮したサービスの提供を行っている。 ・熊本市障がい者サポーター制度を推奨し講習を受講している。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・地産地消、旬産旬消を推奨し、県産の材料を利用している。 ・物産館運営において、出荷者(生産者)との連携を密にし販売促進に取り組んでいる。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・感染症対策を考慮した消毒業務や日常清掃業務を行い、社会的安定の維持に取り組んでいる。 ・お取引のある病院との連携により、熊本県に多い透析患者さん向けに管理栄養士のメニュー作成による、お弁当の配食、提供を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・月に2回地域ボランティアとして清掃活動を行い、また災害ボランティアなどにも取り組んでいる。 ・みずあかりや商工会議所、自治会の活動に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・定期的に避難訓練を実施するとともに、救急救命(胸骨圧迫、AED等)に関する講習を受講している。 ・緊急時連絡網を構築し、サーバーデータのバックアップ・緊急時を想定した安否確認を行うなどの防災訓練を実施している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGs推進委員会による普及啓発や教育を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・熊本県内の支援学校からの実習生を積極的に受け入れ、採用し活躍の場を提供している。 ・各現場で、小学校・中学校の職場体験の受け入れを行い学びの場を提供するとともに地域との連携を図っている。				4				8.6		10.2						17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・若者サポートセンターや支援学校、大学等との連携による地元雇用の促進を図っている。				4.4				8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17	